

県内の4市連携 台湾豪雨で募金

大和、海老名、座間、綾瀬の4市が7日、横浜市中区の台北駐日経済文化代表処横浜分処に台湾東部・花蓮県豪雨災害救援募金を届けた。

募金活動は、9月の台風18号に伴う大雨で起きた花蓮県の洪水の被災者らを支援するため、大和市内に拠点を置く日台高座友の会(橋本吉宣会長)からの依



頼を受けて10月6日から30日まで実施した。期間中、4市の市役所な

ど7カ所に募金箱が設置されて計約76万3千円が集まった。同分処での贈呈式には橋本会長のほか、古谷田力大和市長、内野優海老名市長、佐藤弥斗座間市長、橘川佳彦綾瀬市長の4市長が出席した。写真(大和市提供)。

第2次大戦末期、元台湾少年工が働いた高座海軍工廠の関連施設が4市内にあった。同会は元少年工との交流事業を継承する活動を行っている。

(山口 譲二)